



給食だより



2024年3月1日

寒さも和らぎ、日に日に春の訪れが感じられる季節になってきました。早いもので今年度も最終月を迎えます。4月を思い返すと不安そうな表情や泣いている印象が強かった子どもたちですが、運動会や生活発表会などの行事、日々の保育園での生活を通して心も体も大きく成長したのだなと感じます。日々の給食を通してその成長の一助になれていたら本当に嬉しく感じます。



今年度を振り返って



今年度は5月にコロナウイルスが5類に移行し、昨年度よりたくさんの食育活動が出来ました。季節の食材に触れたり、夏野菜やお米の栽培、炊飯、クッキングをしたりなど…食育を通して食材のありがたみや食べる楽しさを感じる機会を設けることが出来たと思います。普段は嫌いで残してしまう食材も食育で触れたら食べられた！と報告してくれることもたびたびありました。

今年度の数々の食育の中でも子どもたち、職員そして保護者の方々の印象に強く残っているのは11月に開催されたしだまち祭りの志田町パンではないでしょうか。

私たち調理職員も日頃のおやつで幾度となく作っている志田町パンですが、普段の3倍ほどの量で作るのも、保護者の方に食べて頂くのも初めての経験。何としても美味しいパンを焼きあげてお祭りを盛り上げたい！と気合を入れて準備しました。ドキドキしながら迎えた当日ですが、たくさんの方からの「美味しい！」の声が聞けたり、笑顔が見ることが出来て本当に嬉しかったです。また、後日コドモンのアンケートでも温かい言葉を頂けて頑張ってた良かったと感じました。この経験を糧に志田町パンだけでなく、給食おやつともにさらに美味しくなるよう努めていきたいと思っています。



今年も、毎年恒例ひまわり組さんのリクエストメニューを提供します。

今年度学んだ三食食品群のことや思い出に残っているメニューを思い出しながら考えてくれました。残り少なくなった保育園での給食が美味しく、楽しいものになるよう精一杯心を込めて作りたいと思います。

